

豊かな自然が育む
温かい心、
そして明日へ。

象潟町
広報

7

平成17年
2005

No.604

これが昔の象潟なんだ



6月28日、象潟小学校3年生の児童12人が、総合的な学習の一環として、「象潟町のひみつをさぐろう」と郷土資料館を訪れました。児童らは、地震で隆起する前の「象潟」の模型を見て、九十九島の成り立ちなどを勉強しました。

- 今月の主な記事
- 町単独で乳幼児医療費の無料化を継続... ②～⑤
町議会6月定例会
 - 協働のまちづくり特集... ⑥～⑪
下荒屋町内会の取り組みなどを紹介
 - ことしは「平年作」のご託宣... ⑭
作占い「おためし」

象潟は空手道競技の開催地



君のハートよ位置につけ
秋田わか杉国体
2007 第62回国民体育大会

Information

■ご案内■

慶弔

5月16日～6月15日届け出分

●広報に掲載を希望しない方は、届け出のとき住民係へお申し出ください。

門出

佐藤 喜久男^{さん}(荒古屋)
佐藤 美奈子^{さん}(由利本荘市)
横山 英弥^{さん}(関)
高橋 真弓^{さん}(松ヶ丘)

うぶ声

渡邊 毎^{さん}(一彦)浜畑
佐藤 優和^{さん}(豊美)潟見町2区
佐藤 史織^{さん}(和弘)武島島1区
平川 絢菜^{さん}(広司)鳥屋森
須田 悠菜^{さん}(浩美)長岡
佐々木 要^{さん}(俊行)中橋町
中村 葵唯^{さん}(徳陽)小砂川2区
渡部 廉司^{さん}(仁優)小砂川1区
土門 美月^{さん}(学穂)松ヶ丘

おくやみ

池田 ス工^{さん}(88歳)目貫谷地
渡部 キミ^{さん}(87歳)大砂川
佐々木 實^{さん}(77歳)上浜の町
須田 スミオ^{さん}(91歳)上浜の町
齋藤 ミナエ^{さん}(86歳)本郷
上林 ミヨシ^{さん}(82歳)荒古屋
田中 キク^{さん}(73歳)大砂川
村上 義昭^{さん}(61歳)潟見町2区
佐々木 清一郎^{さん}(78歳)下荒屋
佐藤 キミエ^{さん}(85歳)小砂川1区
松田 幸子^{さん}(89歳)大砂川
佐藤 ユキノ^{さん}(84歳)小砂川2区
森 昇^{さん}(78歳)潟見町1区
眞嶋 正一^{さん}(90歳)立石1区

人口・世帯の動き

平成17年5月末現在

世帯数 4,078 (4) - 10
人口 12,834人 (3) - 143
男 6,148人 (1) - 74
女 6,686人 (-4) - 69
()内は前月比、内は前年同月比
転入... 19人(129) 出生... 12人(44)
転出... 20人(209) 死亡... 14人(72)
()は1月からの累計

7月の在宅当番医

3日・象潟駅前皮フ科 (43—5252)
10日・池田医院 (43—3106)
17日・さいとうクリニック (43—3105)
18日・加藤医院 (35—2543)
(仁賀保町)
24日・金病院 (43—5522)
31日・木村医院 (43—3308)
診察時間は午前9時～正午です。
—町医師会—
変更の場合の問い合わせは、役場が消防署(38-2310)へ

お詫びと訂正

先月号の象潟町功労者表彰受賞者の記事で、2ページの佐々木久一郎さんの行政区の「本郷」は「荒古屋」、須田藤雄さんの「下浜の町」は「上浜の町」、また20ページ、門出欄の「長谷川祐子さん」は「長谷山祐子さん」の誤りです。お詫びして訂正いたします。

町功労者

町議会議員のほか、民生児童委員を23年間、また社会福祉協議会理事を務め、平成元年町功労者に。

問い合わせ

役... 役場 433200
保... 保健センター 437501
公... 公民館 432229
体... 町民体育館 338855
郷... 郷土資料館 432005
B... B&G海洋センター 436490

7月のこよみ

3 日	・青空市(J A象潟町支店 12時～)
6 水	・カン収集日(ボックス)
8 金	・海水浴場海開き (小砂川15時、象潟16時) ・ビン収集日(指定袋)
10 日	・仁賀保地区消防訓練大会 (金浦町 8時15分～)
12 火	・ペットボトル収集日(指定袋)
13 水	・青空市(J A象潟町支店 12時～)
15 金	・第25回合併協議会(金浦町 青少年ホーム 午後1時30分～)
17 日	・第17回秋田トリアスロン 芭蕉レース象潟大会(象潟 海水浴場9時スタート)
18 月	・燃えるごみ収集休み
20 水	・カン収集日(ボックス)
22 金	・ビン収集日(指定袋) ・通勤途中のクリーニングデー
23 土	・小中学校夏季休業日 (8月25日まで) ・青空市(J A象潟町支店 12時～)
26 火	・ペットボトル収集日(指定袋)
27 水	・燃えないごみ収集日(指定袋)
30 土	・きさかた「港」海の幸まつり (ねむの丘特設会場 10時30分～)
8/1 月	・固定資産税2期 納期限 ・国保税1期

お忘れになっていませんか

6月30日は町民税1期の納期限でした。いま一度ご確認ください。
問い合わせ先 町税務課徴収係 (43—7502)

サイレンを吹鳴します

7月10日(日)、消防本部前広場で仁賀保地区消防訓練大会を実施します。
大会当日の朝6時に火災警報発令のサイレンの吹鳴と半鐘の打鐘を行います。(解除は自然解除)
問い合わせ先 仁賀保地区消防本部 (38—2311)

乳幼児医療費^{町単独}無料化を継続

町議会6月定例会は6月14日に招集され、17日までの4日間の会期で開かれました。上程された議案は、人権擁護委員候補者の推せん2件、町行政協力員の設置に関する条例を廃止する条例制定、町づくり基金など基金条例を廃止する条例制定5件、町立学校給食共同調理場建設基金など新たに設置する基金条例制定3件、町斎場建設工事など請負契約の締結3件、17年度一般会計補正予算など予算関係5件、その他3件の計22件です。



▲町では、子どもたちの健やかな成長を願い、子育て支援に力を注ぎます

本定例会に提出された主な議案は次のとおりです。

人権擁護委員の二人を再任

人権擁護委員候補者の推せん
9月30日で任期満了となる
人権擁護委員候補者に、現委員の須藤文男さん（大須郷・66歳）と安藤智子さん（鳥の海1区・65歳）が再度推せんされました。

行政協力員制度を廃止

町行政協力員の設置等に関する条例を廃止する条例制定
現在、町が取り組んでいる協働のまちづくりを進める環境を早急に整えたいと考え、行政協力員制度を6月で廃止することになりました。
配布物等は、自治会長連絡

町づくり基金条例等を廃止

協議会と委託契約を締結し、町内会にお願いする予定です。
町づくり基金条例を廃止する条例制定
町土地開発基金条例を廃止する条例制定
町地域福祉基金条例を廃止する条例制定
町スポーツ振興基金条例を廃止する条例制定
町図書基金条例を廃止する条例制定
以上の基金を、10月1日の仁賀保町、金浦町、象潟町の合併までに、各町の基金を調整するため廃止しました。

学校給食調理場建設基金等を制定

町立学校給食共同調理場建設基金条例制定
象潟中学校と並行して建て

の建設に向け、財源を積み立てるため基金を設置します。
町郷土資料館資料取得基金

条例制定

郷土資料館の将来にわたる良好な運営のため、資料を効率的に取得できるよう基金を設置します。
象潟観光振興施設整備基金

条例制定

象潟地区の主要観光施設の将来にわたる良好な運営のため基金を設置します。

斎場建設工事等の請負契約を締結

上浜中央地区中継ポンプ施設工事請負契約の締結

契約金額

契約先 水道機工株東北支社
町斎場建設工事（建築本体工事）請負契約の締結

契約金額

契約先 斎藤建設株
町斎場建設工事（火葬炉設備工事）請負契約の締結

契約金額

契約先 株宮本工業所
5,722万5千円



▲斎場の建替工事は今月から開始（完成予想図）

一般会計予算 3億4千万円を補正

歳入歳出それぞれ3億4,419万6千円を追加し、予算の総額をそれぞれ53億5,219万6千円となりました。
歳出補正の主な内容は、これまで高速インターネットサービスを受けられなかった上浜・上郷地区の整備を行う「ADSL網整備事業費補助金」のほか、新たに設置した基金への積み立て（詳細は5ページ）、中学校建て替えのための設計委託料などの追加です。

補正予算に計上された主な事業

合併 50 周年記念関係		・ 町立学校給食共同調理場建替事業費	
・ 合併50年事業標柱作製委託	27万円	設計委託、地盤調査委託	688万円
・ 島倉千代子ショー実行委員会補助金	377万円	・ 小中学校、公民館図書購入費	393万円
・ 象潟小唄保存事業委託	70万円	その他	
・ 御嶽公園遊歩道整備工事ほか	178万円	・ 協働のまちづくり事業費補助金	100万円
3 町合併関係		・ ADSL 網整備事業費補助金	507万円
・ 合併協議会負担金	388万円	・ みどり中央公園環境整備工事	70万円
・ 看板製作等委託料	399万円	・ わか杉国体象潟町実行委員会補助金	65万円
・ 庁舎カウンター改修工事	116万円	・ 税申告支援パソコン購入費	267万円
教育関係		・ 地域で創る水田農業支援事業費補助金	214万円
・ 象潟小学校コンピューター教室整備工事ほか	336万円	・ 中島台木道等設置工事	303万円
・ 上浜小学校教室改修・バリアフリー工事ほか	1,090万円	・ 商工会地区共通商品券事業費補助金	100万円
・ 中学校建替事業費 設計委託、地盤調査委託	4,420万円	・ ねむの丘中核施設改修工事	550万円
		・ 防災無線修繕料（大町）	206万円
		・ 象潟九十九島太鼓 10 周年記念太鼓フェスティバル補助金	40万円

行政報告

町長が冒頭で述べた行政報告の要旨は次のとおりです。

新市の組織・機構、字名の取り扱いが決定

3 町の合併準備作業は、新市の組織・機構、字名の取り扱い等が決定しました。

新市の組織・機構は、象潟庁舎に総務部、会計部門、市民サービスセンター、市議会が、金浦庁舎に産業建設部と市民サービスセンターが、仁賀保庁舎に市民部と市民サービスセンターが置かれます。

教育委員会は金浦町勤労青少年ホームに、ガス水道局は仁賀保町ガス水道事業所にそれぞれ



▲合併後、象潟庁舎には総務部門が置かれる

それ配置されます。

新しい組織・機構は、合併協議会で確認された「三町の役場庁舎を分庁舎として有効活用する。各庁舎に住民サービスが低下しないよう総合窓口を設ける」ことを前提に配置したものです。

字名の取り扱いは、町内会長および集落・総代を通じて町民の意見を伺ったところ、約7割が「象潟町」の名称を残すことを希望しています。そこで象潟地区は、現在の「由利郡」が「にかほ市」に変わるだけで、大字がある上浜・上郷地区は、既存の大字に「象潟町」を冠する形で大字を変更し、「象潟町」の名称を残すことにしました。

合併50周年記念事業に島倉千代子ショー

50周年を記念する事業として、御嶽公園の整備 象潟小唄の唄と踊りの保存 島倉千代子ショーなどを計画しています。

50周年記念にふさわしい「心」のこる「あるいは」形にのこる「事業」になるよう、実行委員会を立ち上げて、町民の皆さんと「協働」で進めていきたいと考えています。

中学校改築の設計委託業者決まる

象潟中学校と学校給食共同調理場の改築に向けて、県内の設計コンサルタントによる特定共同企業体（JV）3社に、プランニングを依頼していましたが、専門家や公募した方々で組織する選考委員会で、その内容を慎重に審査しました。その結果、秋田市の株式会社建築設計工房のJVによるプランニングを、もっとも高く評価したことから、採用することに決定しました。

乳幼児医療費町が個人負担分を助成

県が8月1日から実施予定の乳幼児医療費制度の見直し案に対し、現行どおり無料化制度を継続するように、去る4月12日、県に出向き要望してきました。

しかしながら、県では、ゼロ歳児や低所得者家庭の児童についてのみ自己負担分を全額助成し、その他の乳幼児は、1カ月ごとに1レセプトあたり1千円、窓口での個人負担が発生することになりました。

知的障害者の通所更生施設

このため、町単独事業で個人負担分を助成し、現行通りの施策として無料化制度を継続し、子育て支援に努めていきます。

知的障害者の通所更生施設

社会福祉法人象潟健康会が知的障害者「一般通所更生施設」を18年4月開所に向けて、北部工業団地内に設置することになりました。

この施設の規模は、床面積が456平方メートル、通所人数は30人です。対象は3町圏域内の療育手帳所持者です。

なお、施設の整備にあたっては、町有地4,800平方メートルを無償貸し付けしています。

北部工業団地内の用地を売却

北部工業団地内の土地の購入希望があった2社に対し、2,100平方メートルを売り渡しました。

1社は、精密金型や金属部品を製造する町内の事業所で、工場移転のため用地を取得したものです。もう1社は、源蔵潟にある事業所で、現事務所敷地を拡張するためです。

3町の共通商品券を発行

商工会では、3町で利用できる「商工会地区共通商品券」を発行します。これは、大型の小売店や量販店の相次ぐ進出で、地元住民の消費購買を吸収される危機感と、消費の地区外流出を防止するためです。この共通商品券のプレミアム相当分を3町が足並みをそろえて補助します。

獅子ヶ鼻湿原に散策道

中島台レクリエーションの森にある「天然記念物獅子ヶ鼻湿原」に、コケ群落観察場所の散策道を整備します。また、「上郷温水路群」が土木学会から土木遺産の認定を受けたことから、案内板を設置します。

象潟本線のガス・水道管を入れ替え

町道象潟本線のガス水道管入替工事は、新町交差点から南側への国道に至る730メートル間で、5月下旬から着手しています。工事期間は8月10日までです。沿線住民および商店街ご利用の皆さまには、ご不便をおかけしますが、ご協力をお願いします。

本町の基金残高

本定例会では、10月1日の合併に向けた調整をし、基金の新設・廃止、または補正されています。基金の残高は次のとおりとなっていますが、基金は今後にも必要に応じて補正が見込まれ、この金額が新市に引き継がれる確定金額ではありません。

(単位：千円)

区分	基 金 の 名 称		1 6 年 度 決算見込	1 7 年 度 当初予算	6 月補正	計
一 般 会 計	財政調整基金		396 147	174 047	35 552	257 652
	減債基金基金		54 612	7 769	46 843	0
	特定 目的 基金	象潟中学校建設基金	255 382	10 800	0	244 582
		学校給食共同調理場建設基金	0	0	80 000	80 000
		象潟観光振興施設整備基金	0	0	45 000	45 000
		まちづくり基金	97 243	4 241	101 484	0
		福祉基金・地域福祉基金	40 770	0	40 770	0
		スポーツ振興資金	20 000	0	20 000	0
		図書基金	4 530	600	3 930	0
		定額 運用 基金	奨学基金	87 084	0	0
	高額療養貸付基金		2 000	0	0	2 000
	郷土資料館資料取得基金		0	0	10 000	10 000
	土地開発基金		10 000	0	10 000	0
特別 会計	国民健康保険財政調整基金		73 089	0	0	73 089
	鳥海国定公園鉾立集団施設整備基金		10 610	52	0	10 558
	農業集落排水事業償還基金		63 442	57 191	0	120 633

協働のまちづくりを目指して

住民参加型のまちづくりを考える

近年、「協働」という言葉をよく耳にするとお思います。「協働」はその文字が示すとおり、住みよいまちづくりという目標に向かって、行政と住民などが協力し合うことです。本町でも、参加と協働のまちづくりを目指し、協働のまちづくり住民検討委員会の発足、協働のまちづくり講演会の開催、また、住民の皆さんが自主的に地域づくり、町づくりに取り組めるよう、本年度から新たに「象潟 夢いきいき21 マイタウン事業」を展開しています。

《協働のまちづくり講演会から》

講師 NPO法人まちづくり政策フォーラム
常務理事 芦立 千佳子さん

住民参加とは

協働とは、アメリカから世界に広がった考え方で、そもそも国家財政・地方財政の縮小を目指したことから始まりました。地域づくり・まちづくりは、それまでの行政中心から住民主体へと変わってきています。

協働という言葉も人によって受け取り方が違うと思います。象潟町としては、「協働」とはこういうものだという定義づけ、ルールを最初に作っておくことが大事です。協働の第一歩は、住民参加ですが、それにはいろいろ

ブさせていくことが大事だと思います。

参加は、一人ひとりが主役です。特定の人活躍するのではなく、お互いが得意な分野で自分の力を発揮すればいいんです。お互いの違いを認め合うことがまちづくりにつながってきます。

形があります（左表参照）。趣旨や役割も不明確なのに、行政側から促されて参加するものから、形式的に特定の人参加するもの、住民主体の活動に行政を巻き込むものまで多岐にわたると考えられます。

いま現在の自分たちの活動がどの段階にあるのかを知り、どの段階を目指すのか考えても良いのではないだろうか。最初は住民参加とはまだまだ言えないところから、経験すること、次第にレベルアップ



▲実践例を紹介しながら協働について講演する芦立さん

住民参加のはしご8段階

8段階	住民の力がいかされる住民参加	住民主体の活動に行政を巻き込む
7段階		住民主体の活動
6段階		住民と行政の協働、決定権の共有
5段階	印としての住民参加	行政主導で住民の意思決定のある参加
4段階		与えられた役割の内容を認識した上での参加
3段階		形式的住民参加（限定された参加）
2段階	住民参加とは言えない	お飾り住民参加（利用された参加）
1段階		操り参加（趣旨や役割の不明確な参加）

私は、長年勤めた会社を退職したのを機に、自分にできる地域活動はないものかと考えていました。ふと飛び込んだ本屋で、新潟県のある町長が出版した協働について書かれた本を読み、協働という取

「考え方が変われば
行動が変わってきます」



協働のまちづくり住民検討委員会
委員長 佐々木勝理さん（浜畑）

り組みに関心を持ちました。ちょうどそのころ、町広報に参加と協働のまちづくり検討委員会の公募を見つけたので、思いきって参加することになりました。

これまで数回の会議を重ね、さまざまな意見が出されています。私たちが町から期待されていることは、町がこれから協働を進めていくうえでの指針となるものを作ることです。行政側から「町民にはこういうもののやサービスがあればいいだろう」というものではなく、私たちが本当に必要だと思っていることを進めていくまちづくりです。それも、町民が行政に要望して「やってもらう」のではなく、私

ちも一緒に作り上げていくものです。

私たちの話し合いの中では、災害時の対応・公園整備・資源の再生・福祉などが出てきています。例えば、資源の再生です。いま町では、合併50周年記念事業として御嶽公園の整備を計画しているようです。その整備を町民主体でできないだろうかということ

先日、委員会で現地を見ってきました。何十年かぶりに足を踏み入れてみましたが、樹齢100年以上にもなっているようなタブやケヤキがあり、見晴しもとてもいいところでした。ここをどんな公園に整備していくか、プランニングの段階から住民参加型にして、自分たちの町の公園は自分たちの手でつくってほしいというものです。

協働の背景には、財政的なことや、住民の価値観の多様化による行政の肥大化・硬直化があります。しかし、これまでの行政主体のまちづくりから、私たち町民主体によるまちづくりができるのではないのでしょうか。私は「難しい問題ほど話し合うことで解



▲検討委員会で行った御嶽公園の現地視察

決できる。考え方が変われば行動が変わってくる」と思っています。もちろん行政側へも要望はあります。これまでに以上に情報を提供してもらいたいのです。目的が明確にされないのでは、私たち町民は何をして達成感・満足感といったものを得ることができません。

いま急に、何でもかんでも住民でやろうというものではなく、自分もこれなら協力できるといったものから、少しずつ参加していけばいいんです。とにかく参加しなければ、何も変わらず、結果は出てきませんから。（談）

象潟 夢いきいき21 マイタウン事業

地域づくりを企画・実践してみませんか



▶6月11日、約90人が参加して行われた九十九島の松をまもる会全員作業。住民が主役のまちづくりの一つです

町が本年度から実施している「象潟 夢いきいき21 マイタウン事業」の内容は次のとおりです。皆さんのお申し込みをお待ちしています。

どんな事業が対象になるの？

事業の目的と計画が、まちづくりや地域づくりに役立つと期待されるイベントの実施、各種研修会の開催、災害防止活動、環境活動、健康づくり、ボランティア活動、郷土文化の保存事業、青少年健全育成などが対象になります。ただし、1団体等につき年1回の助成となります。

事業の対象にならないものは？

・主に営利を目的とした収益事業

・宗教的、政治的な活動や催し物
・施設管理費用や団体の事務、運営費用にあたるもの
・単なる用品購入が目的のもの

・飲食費にあてるもの
・単なる外部への委託など、実効性の低いもの
・他の補助金等の交付を受けるもの
・既存の地域固有の祭典など

だれでも申請していいの？

一定の目的と計画のもとに、象潟町で活動を行う各種団体、町内会あるいは実行委員会、場合によっては個人でも申請できます。

いくら助成してもらえるの？

飲食費など事業の対象とならない経費を除いた2分の1

申し込みはどうしたらいいの？

事業内容および収支計画を立ててから、町に対して協議書を提出してください。協議書の内容が審査会で審査され、対象事業になるかならないかが決まります。助成対象となったとき、改めて補助金の交付申請書を提出することになります。事業を終えてからの協議はできませんので、ご注意ください。

申請はどんなものが出ているの？

本事業は4月から実施しており、これまで数件の申し込み

みがあります。その一例を紹介します。

小学校相撲大会の開催
申請者 象潟小学校わんぱんく相撲推進委員会
事業の目的 日本の国技である相撲を通じて、子どもたちの心身の鍛錬、思いやりの気持ちを学んでもらう。また、元力士の舞

の海を迎え、実技指導・講演会を開催したい。

本郷樋口水路の改良
申請者 本郷集落
事業の目的 本水路は、大雨時などにたびたびあふれ、田畑や一部住宅への床下浸水などの被害が発生している。分水路を設置し、住み良い環境をつ

くりたい。

申込期限はあるの？

現在のところ、申込期限は設けていません。ただし、事業が年度内（3月まで）に終了しなければなりません。

分からないことはどこに聞けばいいの？

町企画課企画係（43-7510）にお気軽にお尋ねください。協議書や申請書も関係にあります。町ホームページからダウンロードすることもできます。

実施例 小砂川自治会 ～クツカケ湾清掃事業～

事業の概要

団体名 小砂川自治会
構成員 自治会役員および集落ボランティア
事業名 クツカケ湾清掃事業
詳細内容 日常のシケや昨年の台風で、海岸線に蓄積された漂流ゴミの一掃を図った。特に、定期クリーンアップで処理できない岩場を重点的に実施。

事業費用（ ）内助成金額
53 000円（26 000円）
実施日 平成17年6月19日(日)

「象潟海岸は、日本の夕日百選にも選ばれている夕日の美しい場所です。このクツカケ湾は三崎公園に隣接し、多くの人が訪れる場所です。しかし、台風や大雨の影響で、流木やゴミが蓄積されています。これまでもクリーンアップ等で清掃してきましたが、岩場も含めると大掛かりな作業になるほか、高額な処理費用がかかります。なかなか自治会単独では手を出せない部分でした。

自分たちでは労力・軽トラック・草刈機などを提供し、町からは、今回の『マイタウン事業』の助成金を活用することで、自治会の金銭的負担は約半分になりました。単独では難しいことが、協働することで、実現することができました」



小砂川自治会長
阿曾 齊さん



▲大量の漂着ゴミで汚れていたクツカケ湾
▶きれいな海岸を取り戻そうと、住民が協力し合い作業をする

一人ひとりができること 役割を分担・明確化

下荒屋町内会へ



下荒屋町内会長
氏家 完次 さん

下荒屋町内の概要
世帯数...122世帯 / 町内人口
...360人 / 町内設置部門...子供
育成部、自主防災部、環境衛生
部、女性部、青年部、OB部、
老人クラブ

農作物等に甚大な被害をもたらした昨年8月の台風15号は、一方では本町沿岸部の地域に、高波による床上・床下浸水などの被害も与えました。その被害が最も大きかった下荒屋町内では、自主防災組織をはじめとする町内会の自治機能がフル稼働し、迅速な避難誘導、炊き出し、復旧活動にあたりました。協働のまちづくりのパートナーとして期待される町内会——下荒屋ではどのような町内会づくりを行っているのか、氏家完次会長にお話を伺いました。

「台風15号では、町内会の素早い対応が目を引きましたが、どういった状況だったのでしょうか。」

小型船舶が数多く停泊している横ノ瀬の堤防をはるかに超える高波が、荒屋下地区に押し寄せました。床上浸水8戸、床下浸水11戸で、このう

ち波で運ばれたボートなどの漂流物が家屋にぶつかり、全壊相当1戸、半壊相当2戸（いずれも町の認定数）の被害がありました。未明から急激に波が高くなり、これまでに見たこともない波が立ち上がり、横ノ瀬に覆いかぶさるようになりました。会館周辺の高台から様子を見ていた町内役員らが協議

し、役場と連絡を取りながら避難を呼び掛けました。自主防災部の協力で、戸隠神社に避難したのが午前6時ころでした。早朝で忙しい時間帯でしたが、停電のためご飯の支度ができない世帯が多くありました。ガスは影響を受けていなかったため、町内の4世帯にガス釜での炊飯をお願いし、女性部が中心となって、おにぎりを作り、必要な世帯に配って回りました。暴風・波浪が収まり、復旧にあたるため午後1時に会館に集合しましたが、平日にも関わらず、若い人も含めて97人が集まってくれました。漂流物の撤去や道路などを清掃しましたが、皆さんの協力のおかげで夕方には完了することができました。

「下荒屋町内では普段から災害に備えて特別なことをしていますか。」
自主防災には救護班・消防班・情報班・給食給水班・避難誘導班があり、役割が分担されています。
また、いざというときに備えて、町内の各班長にも災害用のヘルメットを支給しています。自分の班に入っている世帯を確認することになっているからです。
今年3月には、消防署の協力を得て、町内で防災・津波講習会、炊き出し訓練を実施しました。また、津波に関する防災ビデオも観ました。やはり海沿いの地区なので、津波等への警戒が一番必要だと感じました。



▲台風15号での浸水。老人は、長靴に水が入ると足が上がりなくなり、歩行が困難だったという



▲復旧作業には多くの人が協力してくれました

各部門を設置して

目標を達成していく

「防災以外に地域づくりの取り組みは。」

町内会には、子供育成部、環境衛生部、女性部などもあります。それぞれ年間の事業計画を立て、それに基づいて活動しています。

例えば、子供育成部は、地域の子どもたちは地域で育てようということから、町内の畑を借りて、野菜の栽培を行いました。昨年は、象潟水産学級の協力を得て、ワカメの栽培に挑戦しました。子どもたちもどんな風にワカメが育つかを知るいい機会になり、子どもからお年寄りまで、みんなで試食しました。今年もやってみようと計画しています。

環境衛生部も一生懸命活動している部門です。クリーンアップがあれば、事前に町内を視察して、各班への役割が分担され、町内だよりでお知らせします。また、お年寄りだけの世帯や独り暮らしの世帯には、要望があれば、雪かきや庭木の枝払いなども手伝っています。

「以前からこのような活動はされていたんですか。」
確かに、以前からいろいろな部門はあったんですが、実際には活動していない状況でした。平成14年から、どうせやるのであればきちんと規約等をつくり組織化して、実施していきましようということになったんです。

町内が一つになり 協力し合えることが大切

「町内会というものをどのように考えていますか。」

町内会はその地域をまとめる役割を担っていると思います。町内が一体となって何にとんでも協力し合えるようになれば、自分たちの力で解決できることはたくさん出てきます。

さらに考えていることは、範囲を広げて近隣の町内会との交流もしていきたいということです。近隣の町内会とさらに協力することができれば、より大きなことへの取り組みも可能になってきます。
私たち一人ひとりが、自分に何ができるかを気づくことで、さらに輪は大きく広がっていくのではないのでしょうか。



▲女性部と子供育成部合同による老人福祉施設でのおむつたみ



▲クリーンアップは計画的に実践

象潟中学校等改築事業建設委員 を募集します

町では、中学校と給食センターの改築に向け、校舎の耐力度調査や移転用地の取得などのほか、設計の業務委託の準備を進めています。

今後、基本設計および実施設計を行うにあたって、より広範にご意見等をお聞きしながら建設を進めたいと考えており、改築事業建設委員を次のとおり募集します。

応募資格 町内に住む18歳以上の人

募集人員 若干名

応募方法 所定の応募用紙を提出。用紙は町学校教育課に備え付けてあります。また町のホームページからもダウンロードすることができますのでご利用ください。

応募期限 7月14日(木)

応募・問い合わせ先

町学校教育課 (43—7508)

7月4日から 商工会地区共通商品券を発行

商工会では、象潟町・金浦町・仁賀保町の加盟店で使用できる共通商品券を発行します。購入額に10%のプレミアが付くお徳な商品券ですので、ぜひこの機会にご利用ください。

商品券の額面 1 000円

購入限度額 1人1口(10 000円)
～ 5口(50 000円)

販売窓口 象潟金浦仁賀保商工会

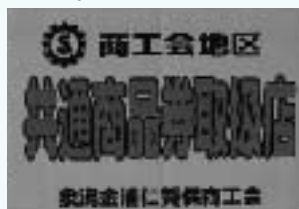
象潟支所、金浦本所、仁賀保支所

販売日時 7月4日(月)～15日(金)の午前9時～午後5時まで。(9日(土)は午後3時まで、10日(日)は休みです)

完売時点で終了となります。電話での受け付けはできません。

有効期限 発行日から
6カ月以内

問い合わせ先
商工会象潟支所
(43—3450)



▲ご利用は加盟店で



▶各世帯に配布された「津波ポスター」

避難ルートの確認を

各行政区には、町内会長、町内会館等に、拡大した詳細図を3部ずつ配布しています。自分が住んでいるところの一番近い高台を確認し、避難ルートを家族みんなで話し合ってください。

秋田県沖には、地震の空白域が存在していると言われています。また、災害は忘れたころにやってくるとも言われています。これを機会に、町



民一人ひとりが津波災害をいま一度真剣に考え、十分な備えで対応してください。

問い合わせ先 町民課生活環境係 (43—7500)

日ごろから 津波災害への備えを



「津波災害ポスター」 を配付

町では今回「津波災害を防ぐために」という表題のポスターを全戸配布しました。日ごろの津波防災知識の普及と地震発生時の津波防災対策に活用していただくことを目的としています。町内会等で、地域の実情に応じて、ハード対策、ソフト対策が一体となった総合的な津波防災対策を検討してください。

ポスターには、津波の起こるメカニズムや津波の性質、性格を掲載しています。津波から身を守るには、直ちに海岸から離れ、急いで一番近い高台へ避難することが必要です。一にも二にも、近くの高台へ一時避難することが最も有効な手段となります。また、避難するときの心得

わが国は、四方を海に囲まれ、古来、しばしば大きな津波災害を経験してきました。近年では、昭和58年の日本海中部地震津波、平成5年の北海道南西沖地震津波が記憶に新しいところです。こうした過去の津波被害と、多くの犠牲から得た教訓に基づき、津波防災の進展を図られてきました。

非常持出品と備蓄品も掲載していますので、日ごろから十分な備えを心がけてください。

津波高の予測を表示

今回もつとめ力を入れたのが「津波浸水予測図」です。象潟町の都市計画図面等をもとに、海抜3m区域を津波高3mとして薄い青色で示し、海抜5m区域を津波高5mとして濃い青色で示しています。津波のエネルギーは、地震発生時の場所、規模によってもかなり左右されます。今回の配色には、その高としての表示の意味では捉えていませんが、本来であれば、津波襲来時の津波のエネルギーを考えると、それぞれの色はさらに拡大するものと考えられます。

叙 勲

町議会議員として、町の産業、教育、文化、福祉の向上に尽力された、次のお二人に旭日単光章が贈られました。6月28日、象潟町長立ち合いのもと、由利地域振興局長が各自宅でご遺族に伝達しました。



故遠藤 嘉彦さん
(小滝 / 享年79歳)

遠藤さんは、昭和51年に象潟町議会議員に当選以来、3期12年間在職されました。その間、建設常任委員会副委員長、決算審査特別委員会委員長などを歴任しました。



故佐藤 邦男さん
(大町 / 享年64歳)

佐藤さんは、昭和47年に象潟町議会議員に当選以来、5期17年間在職されました。その間、建設常任委員会委員長、産業経済常任委員会委員長などを歴任しました。

☆旭日単光章



▲6月3日、佐々木勝理野球連盟会長立ち合いのもと、佐藤尚士代表から寄贈目録が横山象潟町長に手渡されました

本町野球発展へと寄贈

竹内昌也くんを励ます会

元阪神タイガースの投手・竹内昌也くん(立石出身)を励ます会(佐藤尚士代表)が、同会を解散するにあたり、同投手の母校である象潟小学校野球スポーツ少年団、象潟中学校野球部と象潟町に、本町野球発展のために役立ててほしいと、野球用品等を寄贈しました。

町では、町野球連盟と相談して九十九島球場の塁ベース一式を新調し、各種大会で使用させていただくことにしています。



▲児童らの前で口演するスバル会の皆さん(写真中央がみずしさん)

物語に引き込まれる語り口

象潟小学校で音読劇の口演

6月16日、象潟小学校で「ファンタ爺さんとスバル星」のメンバーによる音読劇が行われました。

同団体は、元NHKアナウンサーの塚越恒爾さんが「子どもたちに美しい日本語の音の響きを伝えたい」と、日本各地の学校で口演しています。今回は、メンバーの一人、みずしさん(みずさかさん)の祖母が本町出身という縁から、この口演が実現しました。

子どもたちは、場面や登場人物に応じて変わる語り口に、「その場面のイメージが頭に浮かんだ」と物語に引き込まれていたようでした。

クイズ
広報でさがせ！

次の3つの問題を解いてください。答えは今月の広報の紙面の内容に隠れています。

「象潟小唄」を歌った歌手はだれ？
町が町民の皆さんが自主的に取り組む地域づくりを支援する事業は？
関地区で毎年行われている作占いの神事は？

解答をハガキ、ファクス(43-5707)、またはEメール(kikaku-k@nkktown.jp)で、住所・氏名・年齢・電話番号を明記の上、できればメッセージを添えて、〒018-0192象潟町役場広報クイズ係まで。締め切りは7月19日(火)の消印まで有効。正解者の中から抽選で4人の方に記念品をプレゼントします。発表は8月号の紙上で。先月の当選者は次の4人の方です。(敬称略)
高橋保之助(大町)、佐々木藤一(横町)、藤田福治(潟見町2区)、野口実(東京都)

先月号の答え

6課1室2支所 4,490人
象潟と北海道展

ことしは「平年作」のご託宣

諏訪神社／作占い「おためし」

6月5日、関の諏訪神社では、恒例の作占い「おためし」の神事が行われました。この占いは、境内に作られた占い所で、1週間前に準備した白米や御幣(ごへい)、杉の枝の状態とその年の作柄を占うものです。占いを行った竹内弘幸さんによると、「日照りによる水不足が心配される。台風も一つ

か二つはあるかもしれないが、昨年のような台風はないだろう。豊作は難しいかもしれない。農家の皆さん頑張りますよ」という結果になりました。占い所を取り囲んで見守っていた氏子らは、「よし頑張るぞ」と決意を新たにしています。



▲氏子らが見守る中、占いをする竹内さん

みんなのひろば

青春まつただなか

vol. 23

大森 齋藤 真衣さん(21歳)
— 保育士 —



子どもたちがかわいい

保育士の仕事はどうか

「母が保育士をしていたこともあって、小さいころからの夢でした。子どもたちは、とても元気でかわいいんですが、片時も目を離せませんね」

熱中していることは

「高校生のときに象潟九十九島太鼓を始めました。短大で象潟を離れていた間、休んでいましたが、心に響く太鼓の鼓動を忘れられなくて、また始めています」

性格は

「周りからは、素直とか単純って言われますね。自分では照れ屋だと思っているんですけどね」

理想の男性のタイプは

「誠実な人がいいですね。夢に向かって頑張っている人を素敵だと思います」

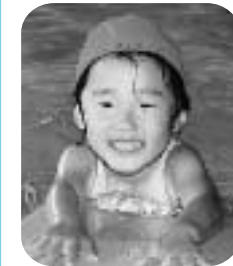
ぼたは げんきツズ

6月26日、B & G 海洋センターに水泳の練習にきていた元気いっぱいの二人。

まいどち 毎日のように泳ぎにきてるんだよ。ヘルプなしでも一人で泳げるんだ



みぎと 樹音ちゃん
(4歳・上新町)



さくら 咲良ちゃん
(4歳・立石1区)

そと してんしゃ の 外で自転車に乗って遊ぶのが大好き！大きくなったらバイクに乗ってみたい

元気でEメール

「あいち象潟会」

日本で今一番景況が好調なのは愛知県です。中部国際空港セントレア開港と日本万国博覧会「愛・地球博」が開催中で、連日大勢の人でにぎわっています。

この愛知県で、平成7年に「あいち象潟会」を設立し、第1回の結成総会に10人もの参加があり驚きました。総会を重ねることに口コミで広がり、会員も現在では30人になりました。会員は女性群が20人と多士済々のメンバーがそろっています。会員同志の年齢層も近く、象潟のことは町の隅々まで知りつくしている仲間だけに会話も象潟弁のなまり言葉で、いつそうの親近感がわいてきます。年1回の総会は一泊旅行を兼ね、みんな心優しい人ばかりで、故郷をしのび、夜遅くまで語り合い、とびつきの元気をもらうことができます。

名古屋の友人・知人にも鳥海山と俳人・松尾芭蕉はもちろん、最近夏は夏の味覚・生ガキがテレビで紹介され、象潟の知名度は意外と高いです。その話題になると夢中になってしまい、自慢話に力が入ることもあります。

今年の10月には、象潟、金浦、仁賀保3町の合併で新市が誕生します。合併後は、金浦、仁賀保出身の皆さんにも入会を呼びかけ、新しい会の名称に変えて親睦会を発足させたいと思っています。愛知県に居住している象潟出身の方のご入会をお待ちしています。

10月の新市誕生と新しい街のご発展を心から期待しています。



佐々木 誠吉さん
(名古屋市在住
＝上荒屋出身・70歳)

潮騒句会

確かめし時計の針や明け易き

今野 陽子

杉穂たつ鎮守の森の明け易し

遠藤 隆

枕辺に旅の鞆や明け易き

須田 喜代子

遠郭公田の面をわたる風に乗り

須藤 千美

ゆさゆさと雫こぼして路運ぶ

須藤 作男

短歌会

寒かりしこの春の峡やうやくに
藤咲き盛り風香くはしき

佐々木 勉

水無月の温き陽気に芍薬は

ひと日見ぬ間に見事に咲けり

佐々木 ミキ

恐竜が噛みくだくこと重機にて

太き鉄筋の小屋壊しゆく

布川 ノイ

芍薬は仏好むと墓所に植ゆ
亡母を想ひて盛る花見る

斎藤 治雄

しとしとと雨に濡れつつ若葉かげ

青梅つばらに太る喜び

伊藤 スエ



ジム&マーシャのフリーノート

Summertime

《Jim》

Hello. Now that Summer has finally arrived, and we've been able to get outside, the Hardy household is seeing some big changes. All the things that Marcia collected from the beach all winter have turned up in her flower garden: lots of bamboo, old plastic barrels, rocks and paving stones, and various other treasures are now being used as flower pots, and various decorations.

《Marcia》

Jim is busy teaching, but in his freetime you might see him out jogging along the streets or among the rice fields. Both Hardys like to walk and go just about everywhere in town on foot. Kisakata feels more and more like home, and you are invited to stop by the house and see Marcia's garden. We would also love to share our life in Kisakata in person with any group that would be interested. Please call Sloan's English School, 32-5188, for information. (This is a bi-lingual presentation.)

サマータイム

《ジム》

皆さんこんにちは。やっと夏がきたので、外出が楽しくなってきました。マーシャが冬の間、浜辺から集めてきたたくさんの物は、フラワーガーデンに利用しています。たくさんの竹、古いプラスチック製の樽、岩石、敷石、そしてほかのさまざまな宝物は、花瓶やプランター、そしてさまざまな飾りとして利用しています。

《マーシャ》

ジムは授業で忙しいのですが、時間をみつければ、町の通りや田んぼ道でジョギングをしているのを皆さんは見かけたことがあるでしょう。私たち夫妻は、町のどんなところでも歩いて行くのが好きなんです。私たちにとって、象潟町をますます故郷のように思っていますので、皆さんも私たちの庭を見ながら家を訪ねてみてください。

私たちの象潟町での生活に関心のある方だけでなく（サークル、グループなど）一緒に語り、触れ合える場をつくりたいと思っています。私たちの友だちの『スローンの英語教室（32-5188）』へ連絡ください。



▲ガーデニングを楽しむマーシャさん

町立小学校（3校）
プール監視員を募集

募集人員 10人程度
対象 60歳までの健康で水泳のできる人（大学生のアルバイト可）
期間 夏季休業中（おおむね7月23日～8月25日）の午前8時30分～午後4時30分

受付 4、7カ月児：午後0時45分～55分
12カ月児：午後1時15分～30分

場所 町保健センター
対象 平成16年7月、12月、17年2月17日～3月18日生まれ
問い合わせ先 町福祉課保健係（43―7501）

▼乳がん・子宮がん検診
子宮けいがんになる割合は、20歳代で増加しているため、本年度から20歳から子宮がん検診を受けることができます。
また、乳がん検診は希望すれば30歳から受けることができますのでぜひ受診しましょう。
日程は下記表のとおりです。

▼マンモグラフィ（乳房X線検査）を実施します
対象 7月の乳がん検診を受ける人（昨年マンモグラフィを受けていない人）
実施日 集団検診方式
期日 9月20日、22日、26日、27日、29日

場所 町保健センター
定員 各日程20人
医療機関方式
期日 8月17日～19日、22日
場所 由利組合総合病院
定員 各日程10人
申し込み期間 8月1日～10日（水）
申し込み・問い合わせ先 町福祉課保健係（43―7501）

【乳がん・子宮がん・骨粗しょう症検診日程】

実施日	会場	受付時間	骨粗検診
7/8(金)	上郷生活改善センター	午後1時～2時	有
11(月)	上浜地区構造改善センター	午後1時30分～2時	
13(水)	〃	午後1時～2時	有
15(金)	町保健センター	〃	有
20(水)	〃	〃	有
22(金)	〃	〃	有
25(月)	〃	午後1時30分～2時	
27(水)	〃	〃	
29(金)	〃	〃	



由利本荘市

「第15回本荘マリーナ海上祭」
期日 7月17日(日)
時間 午前9時～午後3時
内容 ヨット教室、クルーザー乗船体験、海釣り大会など
場所 本荘マリーナ
問い合わせ先 本荘マリン協会事務局（24―6349）

「第16回子吉川いかだ下り大会」
期日 7月24日(日)
時間 午前9時～午後2時30分
場所 子吉川
内容 手づくりいかだのユニークさを競いながら子吉川を下る。
問い合わせ先 子吉川いかだ下り大会実行委員会事務局（22―0722）

全日本吹奏楽コンクール
第47回秋田県大会

日時 7月17日(日) 正午開演
場所 本荘文化会館
入場料 1,000円
問い合わせ先 仁賀保高校・猪股（43―4791）

自衛官採用説明会を開催

日時 7月28日(木)
午後1時～3時
場所 象潟町公民館
内容 防衛医科大学校、防衛大学校、看護学生、航空学生、一般曹候補学生ほか

無料調停相談会

日時 7月8日(金)
午前10時～午後3時
場所 本荘簡易裁判所
内容 金銭・土地・建物・交通事故・家庭の問題等
問い合わせ先 本荘調停協会事務局（22―3916）

対象 来春高校、大学卒業予定者およびその父兄、18歳以上27歳未満の人
申し込み・問い合わせ先 由利本荘募集事務所（22―3479）

認知症予防教室を開催

日時 7月8日(金)
午前10時～11時30分
場所 町保健センター1階
内容 講演会（講師 特別養護老人ホーム「平成園」施設長・栗林孝得さん）
問い合わせ先 町福祉課介護係

レディースフィットネス教室
フンポイントエアロビクス

日時 7月20日(水)
午前10時～11時
場所 町民体育館
対象 一般
講師 インストラクター・伊藤みふゆさん
参加料 体育館使用料50円（託児の必要な人は別途100円。事前に申し込みをしてください）
申し込み・問い合わせ先 町民体育館（33―8855）

転ばん教室に参加しませんか

日時 7月12日(火)
午前10時～正午
場所 都市農村交流センター
内容 講演と転倒予防体操（講師 日本女子体育大学名誉教授・山川純さん）
その他 動きやすい服装でご参加し、バスタオルを1枚ご持参ください。
問い合わせ先 町福祉課介護係 険係（43―7501）

保 健

▼リフレッシュ教室
期日 7月4日(月)
受付 午前9時30分～10時
場所 町保健センター
内容 健康体操

▼乳幼児健診
期日 7月19日(火)

象潟小唄をもう一度

象潟町合併50周年記念
島倉千代子ショー



象潟町合併50周年を記念して「島倉千代子ショー」を開催します。
入場は無料ですが、席に限りがありますので、入場整理券が必要です。詳細は7月15日発行のお知らせ版と一緒に配布するチラシをご覧ください。

日時 8月11日(木) 午後6時30分～8時
（開場：午後5時45分）
会場 象潟町民体育館
内容 「人生いろいろ」などヒット曲を多数披露。「象潟小唄」を歌う際は、町民有志による象潟小唄踊りと競演します。
入場整理券 7月21日(木)から配布を予定しています。
入場整理券配布場所 象潟町役場、町公民館、社会福祉協議会、B & G海洋センター、都市農村交流センター、上浜郵便局、鶴泉荘、JA秋田しんせい上郷支店
注意事項 うちわ、上履きをご持参ください（館内は冷房設備がありません）。なお、小学生未満は入場できません。
問い合わせ先 町企画課企画係（43―7510）

「町有土地処分取扱要綱」を制定

町では、町内への定住・建設業の活性化を図るため「地域活性化にかかる町有土地処分取扱要綱」を制定しました。
これは、遊休町有地を活用し、地元業者が選定した土地を個人にあつ旋するもので、取得後2年以内に地元業者が住宅を建設することが条件となっています。
問い合わせ先 町総務課管財係（43―7507）